

平成 30 年 10 月 3 日

保護者の皆様

札幌市立山の手小学校

校長 類 家 齊

全国学力・学習状況調査の結果について

清秋の候、保護者の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動につきましてご理解とご協力をいただき心から感謝申し上げます。

さて、第6学年児童を対象に4月に実施されました「全国学力・学習状況調査」について、本校の傾向や課題を分析しましたのでお知らせします。

1. 全国学力・学習状況調査について

4月17日、全国一斉に小学校第6学年と中学校第3学年の児童を対象に、「義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。」ことを目的に実施されました。

2. 「教科に関する調査」結果の分析について

下の表のように、国語、算数それぞれ4つの領域について、国語と算数についてはA「知識」とB「活用」に区分された問題に解答しました。

教科	国語				算数				理科			
領域	話すこと 聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	数と計算	量と測定	図形	数量関係	物質	エネルギー	生命	地球
区分	A 主として「知識」に関する問題								A「知識」とB「活用」に関する問題を一体的に出題			
	B 主として「活用」に関する問題											

また、各教科について、区分ごと4つの領域それぞれの正答率を全国平均と比較し、以下の比較値に照らして表記しています。(全市共通)

基準	全国平均 +3.1%以上	全国平均 +3.0%以内	全国平均	全国平均 -3.0%以内	全国平均 -3.1%以下
表記	上回っている	ほぼ同程度であるが、やや上回っている	ほぼ同程度	ほぼ同程度であるが、やや下回っている	下回っている

3. 「質問紙調査」結果分析について

全国平均と比較し、特徴のある結果についてお知らせしています。

4. そのほか

本校の全国学力・学習状況調査の結果につきましては、本校ホームページでもご覧いただけます。今回の結果は、今後の指導の在り方に生かすとともに、次年度の『学ぶ力』育成プログラム』に反映していきます。

本校6年生児童の個人の結果については既に配付しております。

### 本校の概要

#### ◆主として「知識」に関する問題(A)

##### ①「話すこと・聞くこと」

- ・全国平均に比べ、ほぼ同程度であるが、やや下回っている。

##### ②「書くこと」

- ・全国平均に比べ、上回っている。

##### ③「読むこと」

- ・全国平均に比べ、上回っている。

##### ④「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」

- ・全国平均に比べ、上回っている。

#### ◆主として「活用」に関する問題(B)

##### ①「話すこと・聞くこと」

- ・全国平均に比べ、上回っている。

##### ②「書くこと」

- ・全国平均に比べ、上回っている。

##### ③「読むこと」

- ・全国平均に比べ、上回っている。

### 今回の調査における課題

- 相手や目的に応じ、自分が伝えたいことについて、事例などを挙げながら筋道を立てて話すこと。

- 相手や場面に応じて適切に敬語を使うこと。

- 話合いの参加者として、質問の意図を捉えること。

- 目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書くこと。

### 改善の方向

- 相手や目的、場面、状況に応じて、言葉を置き換えること、内容や順序を考えること、相手の理解の状況を確認しながら説明する等の場を設定することで適切に説明の仕方を工夫し、活用するような学習の充実を図る。

- 目上の人を相手に話したり、手紙を書いたりするなどして相手と自分との関係を意識しながら敬語を使うことに慣れるとともに、公の場での身内に関わる言葉の使い方に関する感覚を養う活動の充実。

- 話合い活動では、児童が司会者、提案者、参加者、解説係の四つの役割に分かれて話合いを行う。解説係の気付きを生かして話合いを振り返り、出されたよい点や改善点、それぞれの役割のポイントを明らかにしていくような活動の充実。

- 「推薦理由を明確に伝える」などの目的や意図に合う事例を挙げることにより、自分の考えを具体化したり、相手の理解を促すことができるかを判断したり、必要な資料を集め、適切に関係付けて書いたりする活動の充実。

### 本校の概要

#### ◆主として「知識」に関する問題(A)

##### ①「数と計算」

- ・全国平均に比べ、上回っている。

##### ②「量と測定」

- ・全国平均に比べ、ほぼ同程度であるが、やや上回っている。

##### ③「図形」

- ・全国平均に比べ、上回っている。

##### ④「数量関係」

- ・全国平均に比べ、上回っている。

#### ◆主として「活用」に関する問題(B)

##### ①「数と計算」

- ・全国平均に比べ、上回っている。

##### ②「量と測定」

- ・全国平均に比べ、上回っている。

##### ③「図形」

- ・全国平均に比べ、上回っている。

##### ④「数量関係」

- ・全国平均に比べ、上回っている。

### 今回の調査における課題

- 小数の除法の意味について理解している。

例)  $12 \div 0.8$  の式で求められる問題を選ぶ。

- 異種の二つの量のうち、一方の量がそろっているときの混み具合の比べ方を理解している。

- 分度器等の用具を用いたり、角の大きさを回転の大きさと捉えたりして角の大きさを求めること。

例) 180 度の角の大きさを理解している。

- 数量の関係について論理的に考察したことを、式を用いて表現すること。

### 改善の方向

○ 問題場面を図や数直線等を用いて、数量の関係を的確に捉えて演算決定し、立式できるようにする指導の更なる工夫。

○ 混み具合については、面積がそろっていれば、人数の大小で混み具合を比べることができることなどを、実感的に理解できるような学習の充実を図る。

○ 角の大きさの意味や2直角が  $180^\circ$  であることを理解できるようにするために、角とは、一つの頂点から出る二本の辺が作る形であり、頂点を中心にして一本の辺を回転させたときの回転の大きさが、角の大きさであることを理解できるような学習の充実。

○ 算数の問題場面における数量の関係を帰納的に考察し、見いだした数量の関係を式で表現する活動の充実。

# 理科

## 教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

### 本校の概要

#### ◆領域

##### ①「物質」

- ・全国平均に比べ、上回っている。

##### ②「エネルギー」

- ・全国平均に比べ、上回っている。

##### ③「生命」

- ・全国平均に比べ、上回っている。

##### ④「地球」

- ・全国平均に比べ、ほぼ同程度であるが、やや上回っている。

### 今回の調査における課題

- 人の腕が曲がる仕組みを模型に適用できる。

- 堆積作用について、科学的な言葉や概念を理解している。

- より妥当な考え方をづくりだすために、複数の情報を関係付けながら、分析して考察できる。

### 改善の方向

- 主体的な問題解決の活動を通して獲得した知識を、自然や日常生活などの他の場面に適応して考える際、図や模型等を用いる等の学習場面の工夫。

- 地球の領域における目的に合わせた観察・実験を位置付け、得られた結果を基に「事実」と「解釈」を示しながら、自然の事物・現象を科学的な言葉で説明するなどの活動の充実を図る。

## 質問紙調査

### 質問紙調査の結果概要及び改善の方向等について

62個の質問に対して、児童が「そう思う」と、「どちらかと言えばそう思う」と回答した合計を「肯定的な回答」として、全国平均と比較し、本校の特徴的だった質問事項が以下です。

#### 【全国と比較して肯定的な回答の割合が高いもの】

	質問事項	本校	全国	全国平均差
1	家で、学校の授業の予習・復習をしている。	73.6	62.6	+11%
2	家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習している。	83.9	69.9	+14%
3	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある。	59.8	49.9	+9.9%
4	算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えている。	73.5	64.4	+9.1%
5	理科の授業の内容はよく分かる。	98.9	89.4	+9.5%
6	将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思います。	39.0	26.1	+12.9%
7	理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている。	87.4	75.2	+12.2%
8	理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えている。	96.5	81.8	+14.7%
9	5年生のとき、理科の授業を受けた後に、習ったことに関するもっとも知りたいことができた。	86.2	75.1	+11.1%

#### 【全国と比較して肯定的な回答の割合が低いもの】

	質問事項	本校	全国	全国平均差
10	家で、学校の宿題をしている。	73.9	97.1	-23.2%
11	今住んでいる地域の行事に参加している。	52.9	62.7	-9.8%

## 全体を通して

### 【国語】

『A 主として「知識」に関する問題』と『B 主として「活用」に関する問題』ともに上回っている状況と言えますが、「A の話すこと・聞くこと」に課題が見えました。2 ページの「改善の方向」に示したように相手を意識した学習の在り方を充実して参ります。その他の全ての項目については、平均を上回っていますので更なる充実を図れるように「改善の方向」を示しました。

### 【算数】

『A 主として「知識」に関する問題』と『B 主として「活用」に関する問題』ともに全ての項目で上回っている状況と言えますが、「A 量と測定」には、若干の課題があると捉えています。3 ページの「改善の方向」に示したように実感的な理解を伴う学習の在り方も工夫して参ります。その他の項目については、更なる充実を図れるように「改善の方向」を示しました。

### 【理科】

4 つの領域の全ての項目で上回っている状況と言えますが、「地球」領域に課題が見えました。4 ページの「改善の方向」に示したように自然の事物・現象を科学的な言葉で説明することを意識した学習の在り方を充実して参ります。その他の全ての領域については、平均を上回っていますので、更なる充実を図れるように「改善の方向」に示しました。

### 【質問紙】

#### ○家庭学習について

「学校の宿題に対する取組(10)」に肯定的な回答の割合が低く、「予習・復習に対する取組(1)(2)」に肯定的な回答の割合が高いことから、両者を区別していると捉えることができます。学校から課す課題の質と量について再検討したいと思っています。

#### ○地域の行事への参加について

「地域の行事に参加している(11)」についての肯定的な回答の割合は低いですが、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある(3)」についての肯定的な回答の割合が高いことから、その意識を生かすためにも周知や促しの在り方を工夫して参ります。

#### ○「理科」に関する質問について

肯定的な回答の割合が高いことから、興味・関心・意欲に支えられた確かな学びとなっていることが分かります。

### (総じて)

今後も、更に「分かる・できる・楽しい授業づくり」の充実を図っていくことで、身に付けた知識を活用できる力を更に伸ばしていきます。